

新型コロナウイルス ワクチン接種情報

第3号
令和3年4月5日発行

◆**孺恋村では、5月中旬以降に高齢者から接種を開始する予定です。**

◆**接種券（クーポン券）は4月中旬に発送予定です。**

※高齢者施設等に入所している方で施設から接種券が必要だと連絡があった場合は保健室までご連絡ください。

◆**現時点で高齢者の接種に使用するワクチンは、ファイザー社製のワクチンとなります。**

ファイザー社製ワクチンについて

【接種回数】 2回（通常、3週間の間隔）

【接種部位】 肩の近くの三角筋（筋肉内に接種）

【予防接種を受けることができない人】

- ・明らかに発熱している人（通常37.5℃以上を指します）
- ・重い急性疾患にかかっている人
- ・このワクチンの成分に対し重度の過敏症※の既往歴のある人
（※アナフィラキシーや全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等の症状）
- ・上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある人

【予防接種を受けるにあたり注意が必要な人】

該当すると思われる方は、**事前に主治医に集団での接種が可能か確認**して下さい。

- ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ・過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・このワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれのある人

※ワクチン接種後も適切な感染防止対策を行う必要があります。

新型コロナワクチンを受けた後の注意点

ワクチンを受けた後は、15分以上は接種会場で座って様子をみて下さい。

接種日当日

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	<ul style="list-style-type: none">・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。・起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	<ul style="list-style-type: none">・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。

ワクチンを受けた日の
注意点

- 激しい運動は控えてください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。



数日

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1-10%	吐き気、嘔吐

コミナティ®添付文書より改編

- インフルエンザ等のワクチンより痛みが強いと感じる方もいます。
- これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- 疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

【副反応について】

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、このワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る場合があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

【予防接種健康被害救済制度について】

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金の給付)が受けられます。

【問合せ先】 孺恋村役場 健康福祉課 保健室 0279-96-1975